



高校51回
芳野 友美
よしの ゆみ

平成11年卒
(株)ハーモニー
女優・タレント
平成22年度NHK大河ドラマ「龍馬伝」
日本テレビ「有り難いこと」
他、映画・CM・舞台・ドラマなど
<http://ameblo.jp/yumi-yoshino/>

「嘉穂東高等学校の卒業生である誇り」

く、日々を過ごし2年生へと進級した頃、進路について真剣に考え始めなければいけない時期へと突入しました。

英語科なのだから、将来は英語に関わる仕事をしたいという希望はあったので、大学への進学を考えていたのですが、密かに芸能界での仕事に興味を持つていた私は、当時たまたま見つけた雑誌主催のオーディションに初めて応募をしたのです。

両親にも、友達にも、勿論学校にも内緒で。もともと積極性のない私が初めて自ら行動を起こしたときです。それだけ強い思いを抱いていたのです。

とは言つても、書類選考→地方予選→二度の読者投票→東京での本選会といふ一つの段階があつたので、ひつそりと撃沈して、諦めるきっかけにしようと思つていました。

私のやりたいことを尊重してくださいましたこと、今でも本当に感謝しています。

入学当初は好きになれなかつた母校は、卒業する頃には誇りに変わっていました。それは今も同じです。

卒業後、上京し色々ありましたが、現在も女優・タレントとして好きな仕事をやらせていただいています。

自分自身、もつと大きく成長して、たくさんのこと学ばせてくれた我が母校に、いずれ何かしらの恩返しができたら……と思い、今も日々励んでいます。

嘉穂東高等学校在校生の皆様、様々なことで、悩みや思うことがあれば、最初から諦めずに是非、先生方に相談してみてください。先生方は必ず、いい方向に導いてくださるはずです。

そして、嘉穂東高等学校御中、この場をお借りして、改めてお礼を言わせていただきます。

本当にありがとうございました。

1996年、嘉穂東高等学校英語科に入学し、3年間在籍していましたが、入学当初は、正直不満がたくさんありました。

華の女子高生活を楽しむべく、期待を胸に入れたのも束の間、実際に通い始めると、義務教育ではないという自分への責任感、校則は厳しく、想像以上に多い課外授業など、期待とは裏腹に厳しい現実を目

の当たりにして、とても楽しめる状況ではなかつたのです。今思えば、勉強を学ぶ場として当然のことながら、當時の私は3年間やつていけるのだろうかという不安、それだけでした。

そんなスタートだった故か、嫌いとまでいかなないものの、どうしても学校が好きになれませんでした。

部活動もせず、特に目立つた活動もな



2009年6月 写真集撮影のため帰省し、その時撮ったもの。上穂波駅にて。



1999年2月 在学中、卒業を間近に控え友人達と記念撮影。後列右。



2000年2月 デビュー直後の雑誌インタビュー記事にて。